

第85回 KTSM 実技セミナー in 宮崎⑥

基礎コース

開催報告

●開催概要 KTSM 実技セミナー 基本コース

「KTバランスチャートを用いた包括的食支援技術」

姿勢調整・スクリーニング評価・実施手技・アセスメント・食事介助など

「口から食べる」支援、つまり、経口摂取を早期に開始し、継続するための支援には、安全な評価や、経口摂取開始する食事介助技術が必要であり、まずは医療従事者の基礎知識・スキルのアップが重要と考え、これまで、宮崎ではKTSM基礎実技セミナーを5回開催してきた。数を重ねるたびに、実技セミナーの内容そのものもレベルアップしていることで、主催することに大きな価値を見出している。第2回目からは、患者ご家族も参加されるようになり、主催者としても、この実技セミナーの意義を強く感じている。

一日セミナーを行うことで、スキルアップだけでなく、包括的支援のための評価ツールとしての展開方法を知ることができる。

今回のセミナーでは、ベッドサイドスクリーニング評価、食事介助の基本的事項について学び、そのスキルを習得してもらうことで、嚥下障害者の良好な機能を活かすことができる評価スキル、より安全にセルフケア能力を高めることを意図とした食事介助のスキルアップを図るとともに、包括的支援のための評価ツールとしてのKTBCでの展開方法を知り、活用していくことで、より多くの嚥下障害者に関わっていける人材の育成を図ることを目的とする。

また、食事介助についてもっと多くの方に広めるべく、『認定食事サポーター』の普及も目的とした。

会期：平成31年5月18日(土) 13:00～17:00

会場：社会福祉法人キャンパスの会 はながしま診療所

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町入道219 TEL. 0985-59-7700

受講者：9名

主催：口腔リハビリテーション研究会

共催：NPO法人 口から食べる幸せを守る会

後援：株式会社プラッツ

株式会社 大塚製薬工場

●プログラム概要

1. 早期経口摂取開始に向けたベッドサイドスクリーニング評価 【演習】
2. 参加者のニーズ、レディネスに沿った食事介助技術 【演習】
 - ・ベッド上での食事介助
 - ・シーティング
 - ・車椅子上での食事介助（セルフケア拡大）
3. 全体まとめおよび質疑応答 【まとめ、質疑応答】

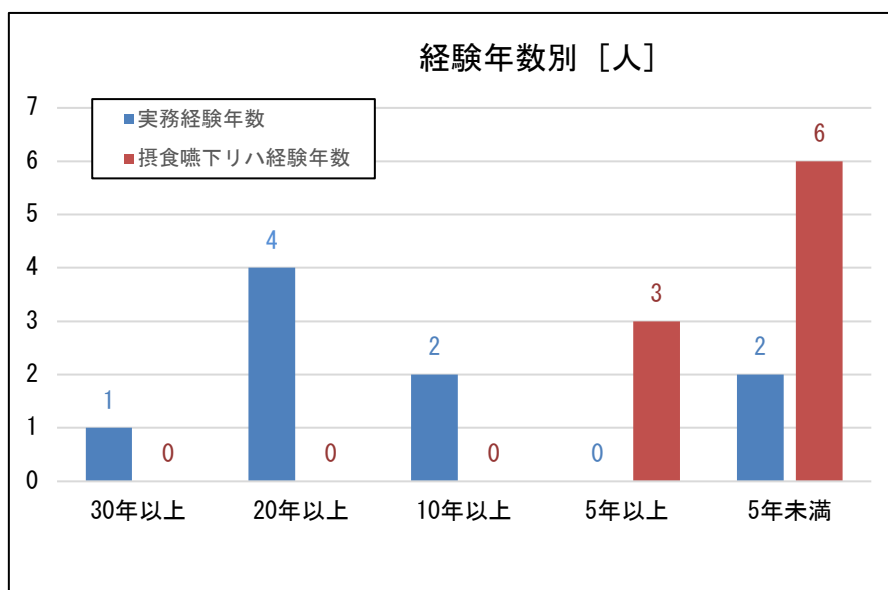
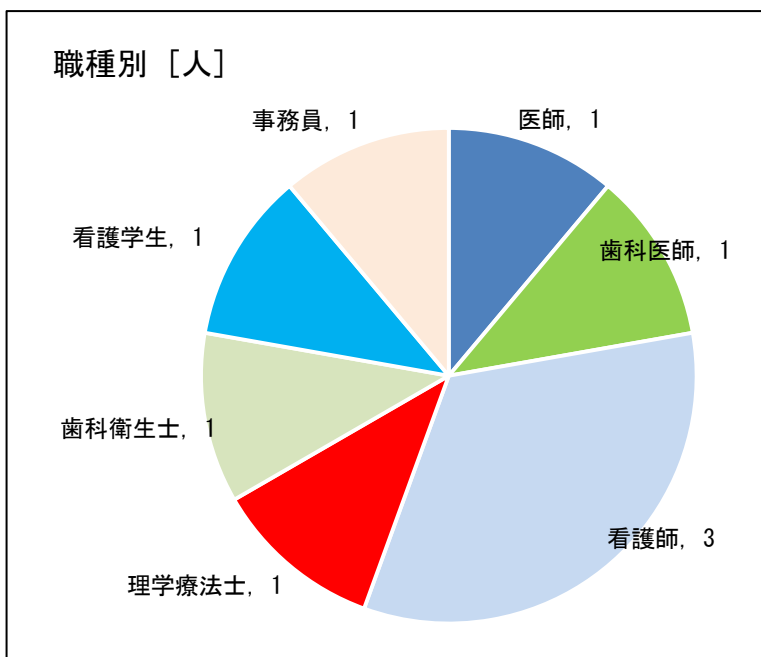
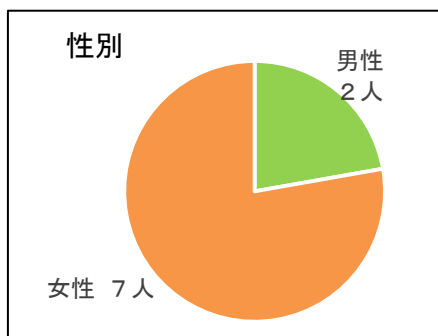
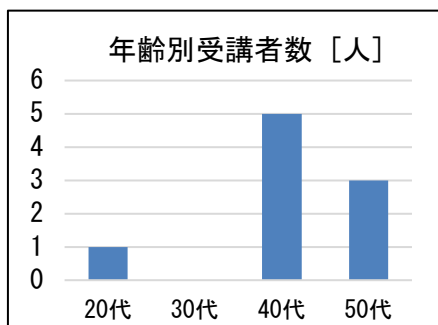
●アドバイザー

敬称略

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
清山 美恵 (宮崎)	口腔リハビリテーション研究会 みえ eat デンタルクリニック	口腔リハビリテーション研究会 代表 歯科医師 (日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士) KTSM 実技認定者

●受講者について

今回は、受講申込者9名での開催となりました。



●研修会風景

★演習を行う上で

今回は、株式会社プラッツさんのご厚意により、ベッド2台を演習にご提供いただきました。大雨にかかわらず、福岡よりお出でくださいました。



★自己紹介



経験者が多い中、まだ本格的な学習も始まっていない看護学生さんの参加もあり、自己紹介も兼ねて、お互いがどのような目的で、どんなことを学んで、帰ってから何をしたいか、学んで帰ることなどを話してもらいました。皆さんそれぞれの思いを語られ、学びたいこともしっかりと持っていらっしやいました。

★実技演習

- ポジショニング
- 早期経口摂取開始に向けたベッドサイドスクリーニング評価

セミナー受講経験者も多く、皆で一緒にポジショニングを行いました。皆さん、声に出して確認しながら、手際よく行っていらっしやいました。



足底の安定方法も学びました

オーバーテーブルの置き方、テーブルの高さも重要！



視線をしっかりと確認する。



ポジショニングでのリクライニング角度。ベッドの角度だけでなく、枕、患者役の首の角度が重要。

この後、ベッドの高さの再調整をしました。



実際の臨床現場では、適切なオーバーテーブルが無いことも多く、左写真のような状況も多いとのことでした。

受講者の希望もあり、一つのベッドでは、直接テーブルの高さを調整できない場合として、患者さんの視線が適切に誘導できるよう、食事トレイの高さを調整してもらいました。



頸部聴診しながらのスクリーニング検査。



お水を見せる位置、患者役の視線確認はなかなか上手いかず…



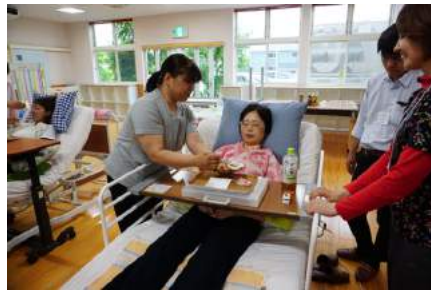
FT テストでは、「あー」と発声の時に、ペンライトで口腔内残留の確認を行います。なかなかスムーズにはいかなかったようです。

リクライニング角度：30 度

- ・水飲みテスト：1cc, 2cc, 3cc の冷水を使用
- ・フードテスト：エンゲリード, KT スプーンを使用
(いずれも頸部聴診下)

●参加者のニーズ，レディネスに沿った食事介助技術

- ・ベッド上での食事介助
- ・シーティング
- ・車椅子上での食事介助（セルフケア拡大）



スプーンは実際に持ってみて、手添えで繰り返し動かしてもらい、運び方、操作については患者さんの視線になってみると、意外にスムーズにできるようになりました。



不良姿勢，不適切介助も体験してもらい、患者役にフィードバックしてもらい、適切介助をしっかりと学んでもらいました。



これも受講者からの希望。リクライニング椅子での円背の患者さんの対応も行いました。三角タオル，五角形折り等での姿勢保持を体験してもらいました。

演習を終わり、まだまだやりたい！と言われた受講者もいらっしゃいました。受講者それぞれが、今後、それぞれ活躍してくださることを期待しています！

●アンケート結果

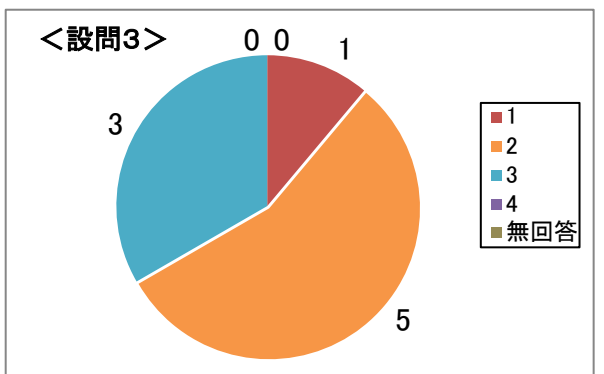
1. 本日のセミナーは、口から食べる技術に関して、ご自身のスキルアップにつながりましたか？

2. セミナーの内容で特に印象に残った点は何ですか？

- ・スプーンの使い方
- ・頭の中で理解しても動けない。スプーンの使い方。
- ・食事介助する時の声かけやリズム（スピード）。スプーン操作
- ・患者さん役になりスプーンの位置、運び方などの気になる点など実際に体験する事により分かってきた。
- ・患者役が嚥下のことをよく御存知の方でしたので、実際に行った手技が患者としてどう感じるのかを一つ一つ伝えていただき勉強になりました。
- ・本当にすべてのことが印象に残っています。分からないことも含めて勉強になりました。
- ・少人数のため徹底的に実技ができたこと
- ・半側空間無視の患者様の介助
- ・空間無視の方の介助方法（以前、介助していた時は見える方で介助し、正面を向かせる努力をしていなかった。）

3. 今回、宮崎市での開催でした。

1) 今回のセミナーをどうやって知りましたか？

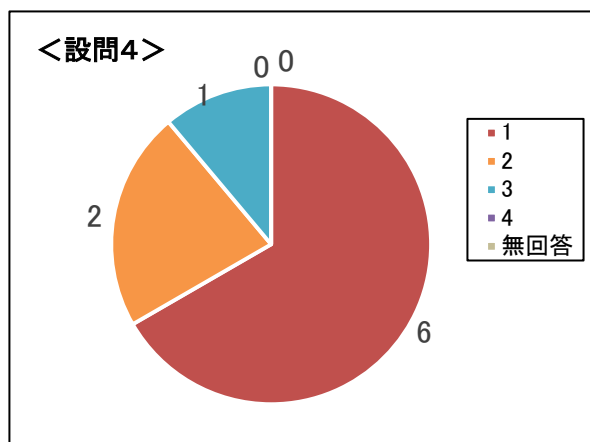


1) KTSMのホームページを見て 2) 研究会からの情報で 3) 知り合いから誘われた
4) その他

2) どうして、今回のKTSM実技セミナーを受講されましたか？

- ・勉強して刺激を受けたい。実技を行ったことがなかったから。
- ・実技が未体験だったから。摂食・嚥下に興味がある。
- ・正しい食事介助の知識を学ぶため
- ・自分のスキルアップ、復習の為
- ・現在、指導する立場にありますが、実際に自分の手技をみてもらっていただき、正しい手技正しい知識をスタッフに伝えていきたいと思ったからです。
- ・職場の上司に誘われて、内容を聞いて興味を持ちました。
- ・事務をしていてなかなかポジショニングや食事介助をする機会がないので、セミナーでさらに学びたいと思ったので受講しました。
- ・学校の授業で小山先生の映像を見て刺激を受けたので受講しました。

4. 本日の受講において、受講希望当初の目的は達成できましたか？



1) かなりそう思う 2) まあまあそう思う 3) ふつう 4) 思わない

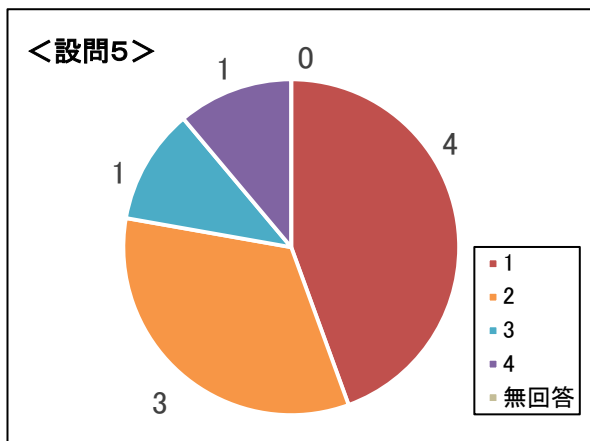
そう思われる理由を教えてください

- ・少しは食べ方が経験できた。
- ・ポジショニング、スプーン運び等、学べた
- ・まだ知らない事だらけで、エビテンスも学びなおさないと…（テキストで見直す）
- ・一部介助の時に、人差し指に力が入りすぎては患者さんの指が伸展してしまう事を教えていただき、また、新たに知識が得られたので良かったです。
- ・皆様の様子を見させて頂きながら、実際にさせても頂き当初の目的よりも大幅に勉強になりました。
- ・認知症の摂食嚥下の知識が得られた
- ・前回のセミナーよりは積極的に参加できたが、まだまだ積極性が足りないと思った。

5. 今後の実践場面で活用できると思いますか？

どんな場面で活用できるか具体的にご記入ください。活用できない場合の理由もお願いします。

- ・対象が少ないが、食事介助をする方もいるので、家族にも伝えたい
- ・現在一部介助のひとの介助をしているので、勉強会で伝える事、実践の介助でも使っていきたいと思います。

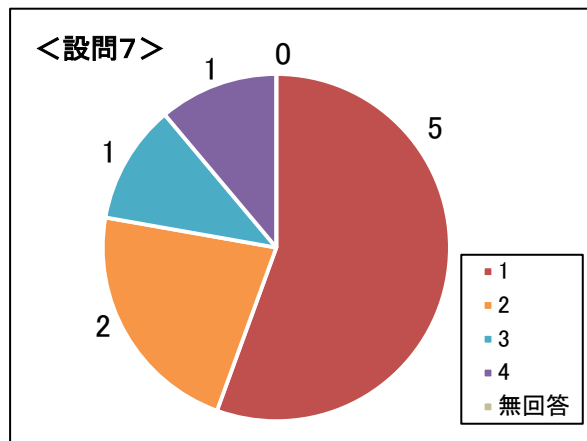
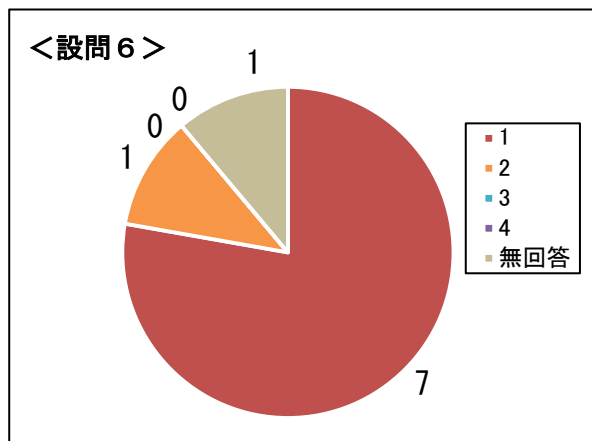


- ・嚙下評価をする時にスクリーニングをしてみようと思う
- ・在宅の認知症の患者様
- ・仕事上では難しい
- ・訪問対象者が少ない
- ・職種が事務なので活用できる場面はありません。でも知識や技術は学んでいきたいと思っています。
- ・これから実習も始まるので応用・実践していきたいと思っています。

- 1) かなりそう思う
2) まあまあそう思う
3) ふつう
4) 思わない
5) 無回答

6. 今後、宮崎でKTSMの実技セミナーを開催予定されれば、参加したいと思われませんか？

7. 今回は基礎編でしたが、アドバンスコースなどがあれば受講したいですか？

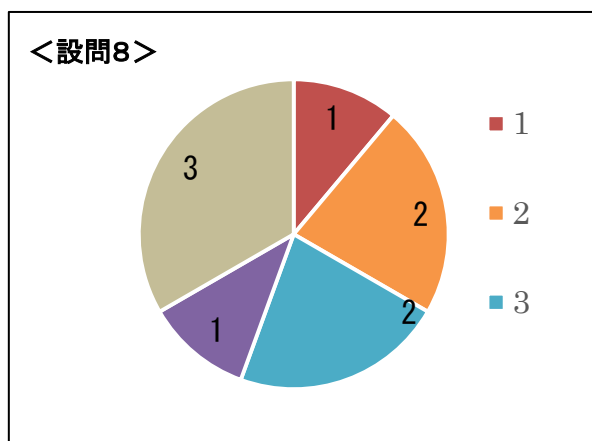


- 1) かなりそう思う 2) まあまあそう思う 3) ふつう 4) 思わない

- 1) 是非受けたい 2) 受けてもいいかなと思う 3) 難しいから受けない
4) 分からない 5) 無回答

8. このようなセミナーや研修会を企画して、開催したいと思いますか？

9. 今回は基礎編でしたが、アドバンスコースなどがあれば受講したいですか？



- ・ありがとうございました。またぜひ受講させて下さい。
- ・患者様役になりました。顔をさわる実技がありましたが、やはり顔をさわられるのはいやなものだと。患者様の御身体をさわらせていただいた時は、気をつけないといけないと思いました。

- 1) 是非、やりたい 2) やりたいので、教えて欲しい 3) 難しい 4) しない

★今回の初めて！！



これまでの宮崎セミナーでは、医療者だけではなく、患者さんご家族、ボランティアとして学生さんが参加いただいたことはありましたが、看護学生さんが初めて受講してくださいました。こちらからの直接的なアナウンスではなく、学生さんご自身が、口から食べる幸せを守る会のHPで今回の宮崎セミナーを見つけ、ご連絡くださいました！！この出会いを大事に、期待を裏切らないよう、努力前進していきたいと思います。

☞ 初めてのスクリーニング検査に挑戦している看護学生さん、日高大地さん

<感想> 初参加の日高大地さんに、受講の感想を書いていただきました！

私はこの4月に看護専門学校に入学しました。

その授業の中で小山珠美先生の出演されたNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」を観る事になり、食事介助から患者さんに希望を与えていらっしゃる先生の姿勢や、技術を観て素直に凄いなと感じました。帰宅後インターネットで調べてみると、KTSM主催の食事介助に関するセミナーが翌日宮崎で開催される事を知り、ダメ元で連絡をしたところ快く受け入れて下さり受講できる事になりました。まだ看護について勉強を始めて約1ヶ月しか経っていない、技術や知識も何もない状態での参加には不安もありましたが、講師の先生が私にも分かりやすいように丁寧に説明、分からない事には根拠も踏まえてご指導下さり、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。また、受講されていた現役の医師、看護師、理学療法士の先生方の会話や、実際の現場で実践してみて生まれた疑問などのお話も聞くことができ、始めから終わりまで常に刺激的な時間となりました。今回のセミナーで分かった事はもちろん、分からなかった事も私にとっては大きな収穫で、これからしっかりと学びを深め、自分の技術と知識に変えていきたいと思っています。最後に今回のセミナーを通して、私も食事介助から患者さんに希望を与えられるような看護師になりたいという新たな目標を持つ事が出来ました。次回のセミナーも是非参加したいと思っています！

★最後に



受講者の皆さんです！！

受講者の皆さん、大変お疲れ様でした。

これに満足することなく、次回第87回KTSM実技セミナーでは一歩進んだセミナーになるよう頑張りたいと思います！

皆さん、一緒に頑張っていきましょう♪♪